

大会時・コロナ禍での取組

- ・東京2020大会に備えて、都のテレワーク助成金を活用しながら計画的に1ヵ月単位で取組を開始
- ・2021年5月：週2回の一斉休業を実施

人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- テレワーク・・・・・・・・・・ 実施率約6割程度（原則PC持出禁止）
- オフピーク通勤・・・・・・・・ 伝票発行する社員は毎朝5時出社
- 計画的な休暇取得の促進・・ 卸先の飲食店の閉鎖に合わせ一斉休業を実施（2021年5月に週2回）
- 手続きの電子化・・・・・・・・ 大手企業の取引先とは電子化（個人経営及び社内関係は紙媒体のまま）
- 社用車の利用抑制・・・・・・・・ 自動車通勤は原則禁止

物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- 発注回数の調整と配送時間の調整・変更
 - ・配送遅延等について、電話や口頭でのアナウンスを実施
- 配送ルートの変更と荷物の集約化
 - ・主に東京体育館周辺のルート調整を実施
 - ・都の各種情報を社内で共有し、現場ごとで対策を検討
 - ・一部、土曜・月曜のみ1台配送とし、他曜日は配送なしで実施
- 取引先や協力企業などサプライチェーンと連携した取組
 - ・日曜配送を中止
- 発注物量の調整
 - ・在庫を多く持つように実施（自社の倉庫で管理）

取組ポイント

- コロナ禍により受注減で出社率を抑制、早出シフトに移行
- 早出シフト移行に伴い運送会社との出荷契約も早朝に変更
- FAXや留守番電話はスマホ対応に移行

取組ポイント

- 顧客に事前アナウンス
- 大会中、通行止め区間は台車を使うなど柔軟に配送
- 大会をきっかけに、日曜配送を中止
- 配達員との連携による配送時間の調整

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク
- 計画的な休暇取得の促進
 - 一斉休業はなし。当番制に移行予定
- 社用車の利用抑制
 - 社用車を廃止し、レンタカーへの切替を検討

物の流れ

- 配送時間の変更
- 取引先との配送に関する調査
- 取引先や協力企業等サプライチェーンと連携した取組
 - ※コロナ禍の状況をみながら、臨機応変に対応

【東京2020大会を振り返って】

- ・配送ルートの変更や荷物の集約化にあたっては、2020TDM推進プロジェクトから提供された各種情報を社内で共有の上、対策の検討を現場ごとで行ったが、コロナ禍により、荷物が増えなかったのが実状。
- ・緊急事態宣言解除後、発注量が増えると想定していたが、営業再開時期をずらす店舗が多いせいかわりにそれほど増えていない。第六波や緊急事態宣言の再発出を懸念して慎重になっている店舗も多いようだ。